



馬場市政3年間の検証と 令和6年度施政方針について

下田昇一郎 (市民クラブ)



【天草の未来を学び、つながり、 語り合う交流の場「ノサリバ」について】

問 これまでの実績と講師とのつながりによる成果は。

答 今年2月までに29回開催し、合計2,899人が参加された。御所浦恐竜の島博物館のリニューアルオープンに向けて設立された地域団体「せんばいなか」では、講演をいただいた神奈川県の実鶴出版の川口氏との交流を機に、「せどわ」を生かしたまち歩きの取組が始まった。

このほか武蔵野美術大学の学生が天草市内の地域や企業とつながる事業を行っている。今年2月より販売されている新商品のラベルを武蔵野美術大学の学生と協働制作されたり、令和4年度に天草フィールドワークに参加した学生のうち2人が、今年4月から本市に移住し、市内の企業に就職される予定もあり、大学との連携がノサリバの開催だけでなく、新たな移住者、人材の確保にもつながっていると考えている。

要望 武蔵野美術大学の学生が活動されている下浦町は、驚くほど盛り上がっている。市が行う新たな取組に積極的に参加している人や地域は盛り上がっていることから、引き続き多くの方に聴講いただける呼びかけとその内容を受け入れてくださるような人材と講師をつなげられるよう要望する。



▲今年2月までに29回開催されたノサリバ



令和6年度施政方針について

澤井 一富 (市民クラブ)



【市民生活に直結する道路等の 生活環境整備について】

問 市役所五和支所前の中洲川上流側の大明神橋の全長は極端に短く、全体を見るといびつな造りの橋である。これまでも豪雨時には雑木が橋にかかり、川がせき止められて増水し、浸水被害が起きたことを確認しているが、今後の補修工事の計画は。

答 橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、取組を進め、安全性確保に努めていきたい。



▲二級河川の中洲川に架かる大明神橋

【交流人口の拡大に向けた 取組について】

問 以前から多くの方が訪れていた鬼の城公園内の各施設が老朽化している。公衆トイレは和式であり、洋式化へ改修できないか。

答 利用者の利便性の観点から、便器の洋式化が必要と認識し、必要な便器数や施設規模を再検討し、令和7年度に建て替えまたは改修を計画している。

要望 鬼の城公園には、キリシタン墓碑群や大蛇が巻き付いた跡にも見える多くの地蔵が鎮座している。また弘法大師を祭った巨大な石像もあり、古くから霊場、祈りの場所として有名であった。本公園の活性化に向けて会が発足するという話もある。天草のパワースポットとして観光客を呼び込めるよう、できるだけ早い時期に、トイレ、イベント広場及び駐車場等の整備を要望する。



本市の防災・減災について 雲仙天草国立公園について

五通 俊作 (公明党)



【本市の防災・減災について】

問 災害の発生時、地域住民の命と健康を守るため、地域の拠点等に防災備蓄倉庫の設置の考えは。

答 今後、備蓄物資の見直しを行う際に、倉庫の容量が不足する場合は検討したい。

問 災害時におけるダイバーシティ&インクルージョン[※]に配慮した取組は。

答 LGBTQ+の知識を全職員が有した体制づくりを行っている。

※ダイバーシティ&インクルージョンとは、多様な人材を受け入れ、その能力を発揮させる考え方

【雲仙天草国立公園について】

問 国立公園の誕生につながった横田良一の功績を称え、永く後世に残すため、「天草小唄」の歌碑を設置する考えは。

答 70周年を機に、天草のさらなる発展に向け、いま一度「天草小唄」の力をお借りしたいと考え、歌碑の設置も含め検討していく。

問 市内全域で、時報の音楽に天草小唄を取り入れる考えは。

答 国立公園70周年に向けて、気運醸成に有効であると考えており、現在実施に向けて準備を進めている。

問 国立公園内における登山道、歩道、道路及び駐車場の整備、また景観支障木の伐採など、景勝地の環境整備を行う考えは。

答 鬼海ヶ浦については、駐車場を含む旧国民宿舎跡地周辺一帯の公園化や、鶴葉山公園については遊歩道の整備を計画している。



令和6年度施政方針における 地域防災、教育政策について

竹本 亨 (無党派)



【地域防災力強化について】

問 施政方針において地域防災力強化が述べられている。しかし、消防団員減少、消防職員が定員に満たない厳しい現状がある。この状態で防災力強化ができるのか。

答 団員確保は大変厳しい状況にあり、団員確保のため活動の負担軽減など改善を図っている。消防職員の人員不足についても広域連合の構成市として、しっかり取り組んでいく。

【少子化における教育政策について】

問 本市においては少子化が止まらない。令和5年出生数は351人と昨年より18人減少した。令和9年度には、市内の中学校2校が全校生徒20人台になることが想定されている。早急に中学校の統合を進める必要があると考えるが。

答 保護者アンケートにおいては、統合に前向きな地域があった。しかし、それぞれの地域において、様々な意見があり、小・中学校の今後のあり方については令和6年度にさらに議論を進めていく。

問 修学旅行の負担金額が、小規模校においては高額になっている。負担額の差は、小学校で1万4,000円、中学校では2万5,000円と年々大きくなっており、数校が合同で実施することによって、この差は是正できる。既に合同で実施した学校においては、大変素晴らしい教育効果があったと聞いている。この問題の解決を果たさなければ社会正義は実現できない。しっかり取り組んでいただきたい。

答 修学旅行には、それぞれの学校の事情があり、できることから検討してもらうよう促していきたい。

■天草市の出生数(令和5年)

地区	人数	地区	人数
本渡	254	栖本	3
牛深	36	新和	6
有明	14	五和	15
御所浦	6	天草	6
倉岳	5	河浦	6
		合計	351